

報道関係者各位

2024年3月卒業予定者の採用・就職に関するアンケート

就職先の最終的な決め手は、成長ができそうだから、自分の能力、個性が活かそうだから、希望の勤務地で働けそうだから。

人事労務分野の情報機関である産労総合研究所（代表・平盛之）は、このたび大学新卒予定者、大学キャリアセンター、採用・就職支援者、企業担当者を対象にした「2024年3月卒業予定者の採用・就職に関するアンケート」を実施しましたので、結果の概要を発表します。調査の詳細結果は、当所発行の『人事の地図』6月号（6月1日発行）に掲載予定です。

主なポイント

1. 【インターンシップの運用ルールに関する把握状況】（2頁）

・整理されたインターンシップの運用ルールについての把握状況は、約半数の企業が「具体的な内容まで把握している」（47%）と回答。その一方で、ルールが整理されたことは知りつつも「具体的な内容についてはいくつか把握していなかった」企業も34%あった（図表1）。

2. 【就職講座で人気のあった講座】（3頁）

・大学のキャリアセンターが提供した就職講座で、24卒の学生に人気の高かったものは「就活全般の解説や対策」（67%）、「書類選考対策（エントリーシート、作文等）」（64%）、「面接の対策」（59%）など（図表3）。

3. 【2024年度新卒者の傾向（特徴）】（3～5頁）

・入社予定先で何年くらい働くつもりかを尋ねたところ、「できるだけ長く」（47%）が最も多く、次いで、「考えていない・現時点ではわからない」（18%）、「2～3年」（13%）と続く（図表4）。

・就職先の最終的な決め手のトップ3は、「成長ができそうだから」（22%）、「自分の能力、個性が活かそうだから」（18%）、「希望の勤務地で働けそうだから」（9%）（図表5）。

・2024年3月卒業予定者の就職活動や進路選択に関わるなかで、企業担当者、大学キャリアセンター、採用・就職支援者が、例年と比較して感じた特徴としては、就職活動への取組みが二極化したこと、社風や職場の雰囲気、配属（職種、勤務地）に関心のある学生が増えたこと等があげられる（図表7）。

本件に関する
問い合わせ先

産労総合研究所 「新社会人の採用・育成研究会」事務局

担当：黒田、片上、境野

〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-1 三宅坂ビル

■ 電話 03(5860)9793

■ e-mail: freshers@sanro.co.jp

■ <https://www.e-sanro.net>

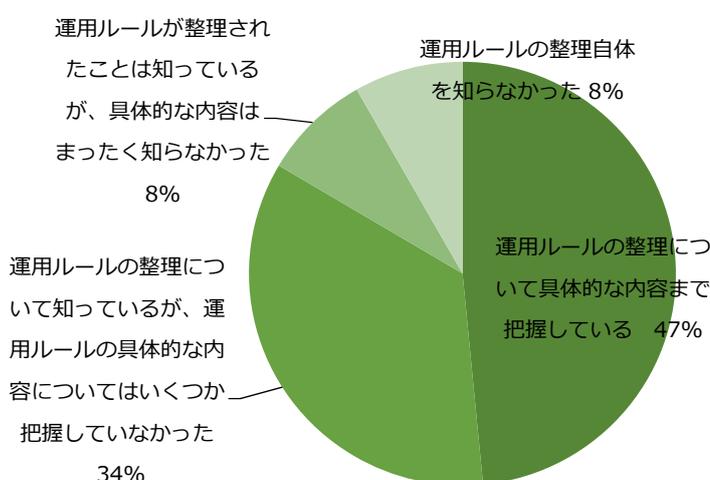
産労総合研究所
Sanro Research Institute, inc

1 採用・就職活動の状況

(1) インターンシップの運用ルールに関する把握状況（企業調査）

インターンシップが「オープン・カンパニー」「キャリア教育」「汎用的能力・専門活用品」「高度専門型」の4類型に分類され、このうち「汎用的能力・専門活用品」のみが採用活動に活用できるようになった。こうしたインターンシップの運用ルールについてどの程度把握しているかたずねたところ、約半数の企業は「具体的な内容まで把握している」（47%）と回答。一方で、ルールが整理されたことは知りつつも「具体的な内容についてはいくつか把握していなかった」企業も34%あった（**図表1**）。

図表1 インターンシップの運用ルールに関する把握状況



(2) 就職活動中にアドバイスを得た相手（学生調査）

2024年3月卒業予定者が就職活動中にアドバイスや情報を得た相手は（複数回答）、「親」（51%）が最も多く、次いで「大学キャリアセンター」（50%）、「友人」（39%）と続く。頼りになった相手でも、大学キャリアセンター（28%）、親（27%）は上位にあり、今回調査では、昨年アドバイスで1位、頼りになったで2位となった「友人」を「親」が抜いた結果となった。就活において親の存在が大きくなっていることがうかがえる（**図表2**）。

図表2 採用・就職活動でアドバイスを得た相手（頼りになった相手上位6位を表示。複数回答）

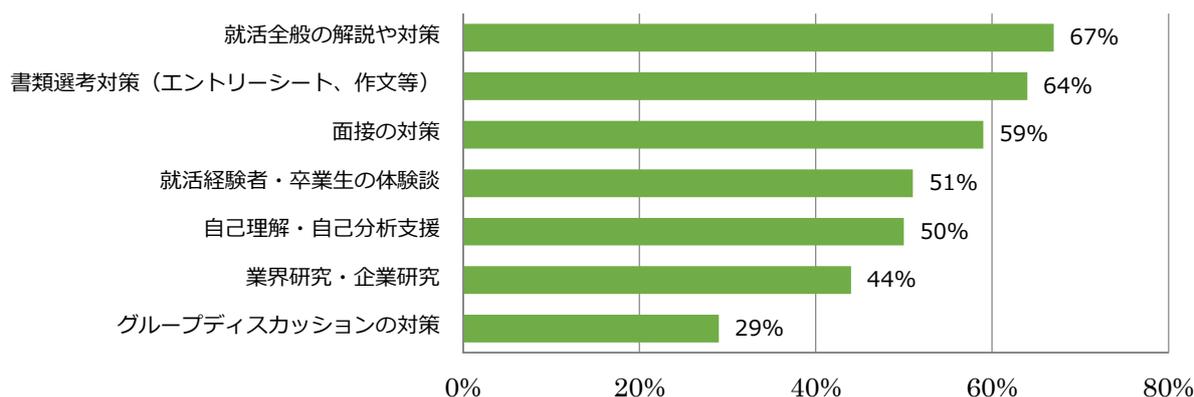
アドバイスを得た相手			頼りになった相手		
1位	親	51%	1位	大学キャリアセンター	28%
2位	大学キャリアセンター	50%	2位	親	27%
3位	友人	39%	3位	友人	19%
4位	先輩	30%	4位	先輩	15%
5位	同級生	29%	5位	特になし	12%
6位	就活エージェント	27%	6位	就活エージェント	12%

（注）上記以外の選択肢として、「兄弟」「親戚」「知人」「卒業生」「教員」「ハローワーク」「民間のアドバイザー」「就職塾」「オンライン動画（YouTube等）の配信者」「サイトやSNSでつながった人」「その他」をあげて調査。

(3) 就職講座で人気のあった講座（大学調査）

大学のキャリアセンターでは就職活動生に対してさまざまな就職講座を用意しているが、24卒の学生に最も人気の高かったものは「就活全般の解説や対策」（67%）で、次いで「書類選考対策（エントリーシート、作文等）」（64%）、「面接の対策」（59%）が続く（**図表3**）。

図表3 就職講座で人気のあった講座（上位7位まで表示、複数回答）



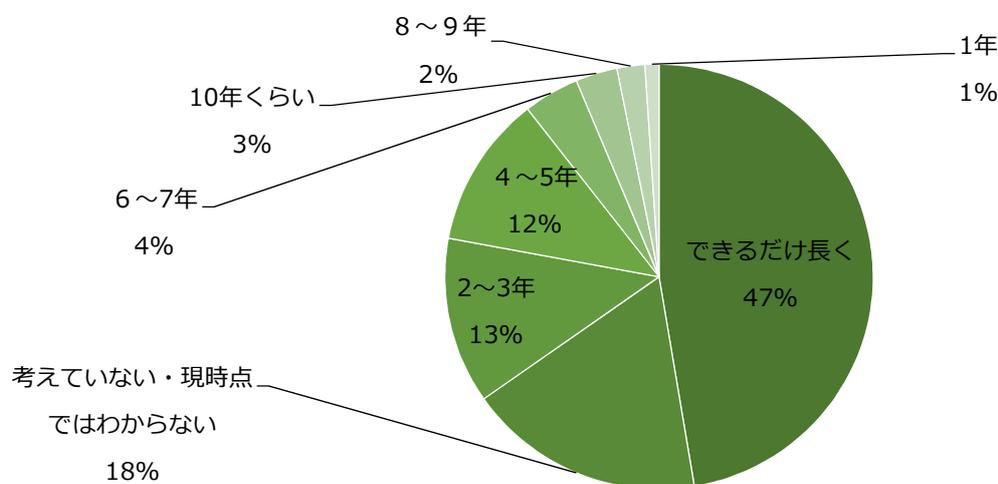
（注）上記以外の選択肢として、「企業・自治体等の採用担当者による講演・対談」「試験対策（適性テスト等）」「マナー講座」「就職情報サイトのエントリー・利用方法解説」「その他」をあげて調査。

2 2024年度新卒者の傾向（特徴）

(1) 入社後の勤続予定（学生調査）

2024年3月卒業予定者で就職を予定している人に、入社予定先で何年くらい勤続して働く予定かを聞いたところ、最も多かったのは、「できるだけ長く」（47%）、次いで、「考えていない・現時点ではわからない」（18%）、「2～3年」（13%）となっている（**図表4**）。

図表4 入社後の勤続予定

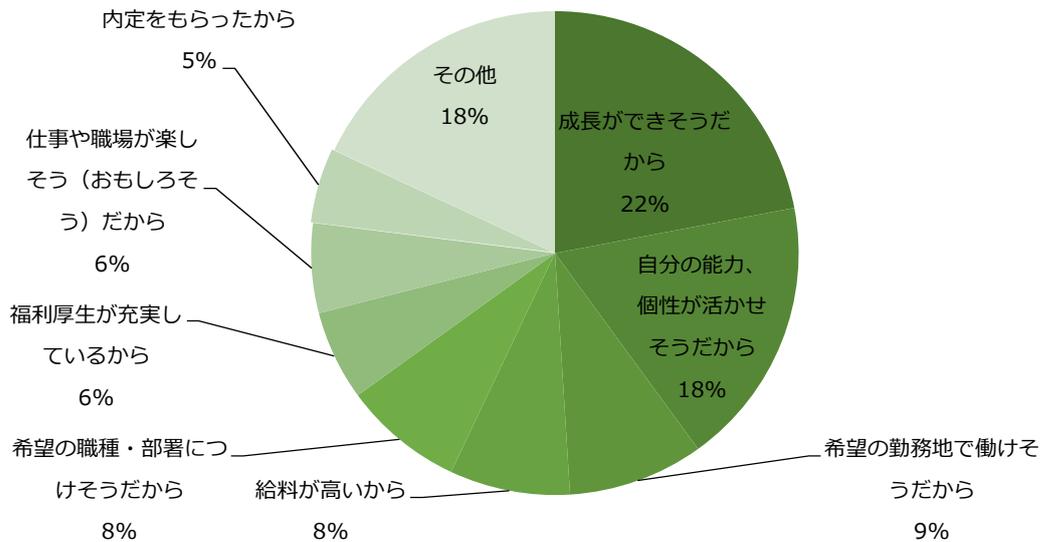


2024年3月卒業予定者の採用・就職に関するアンケート

(2) 就職先の最終的な決め手（学生調査）

2024年3月卒業予定者が最終的に就職先を選んだ決め手は、「成長ができそうだから」（22%）が最も多く、次いで「自分の能力、個性が活かせるそうだから」（18%）、「希望の勤務地で働けそうだから」（9%）となっている（図表5）。

図表5 最終的な就職先の決め手（最も重視したもの1つを選択）



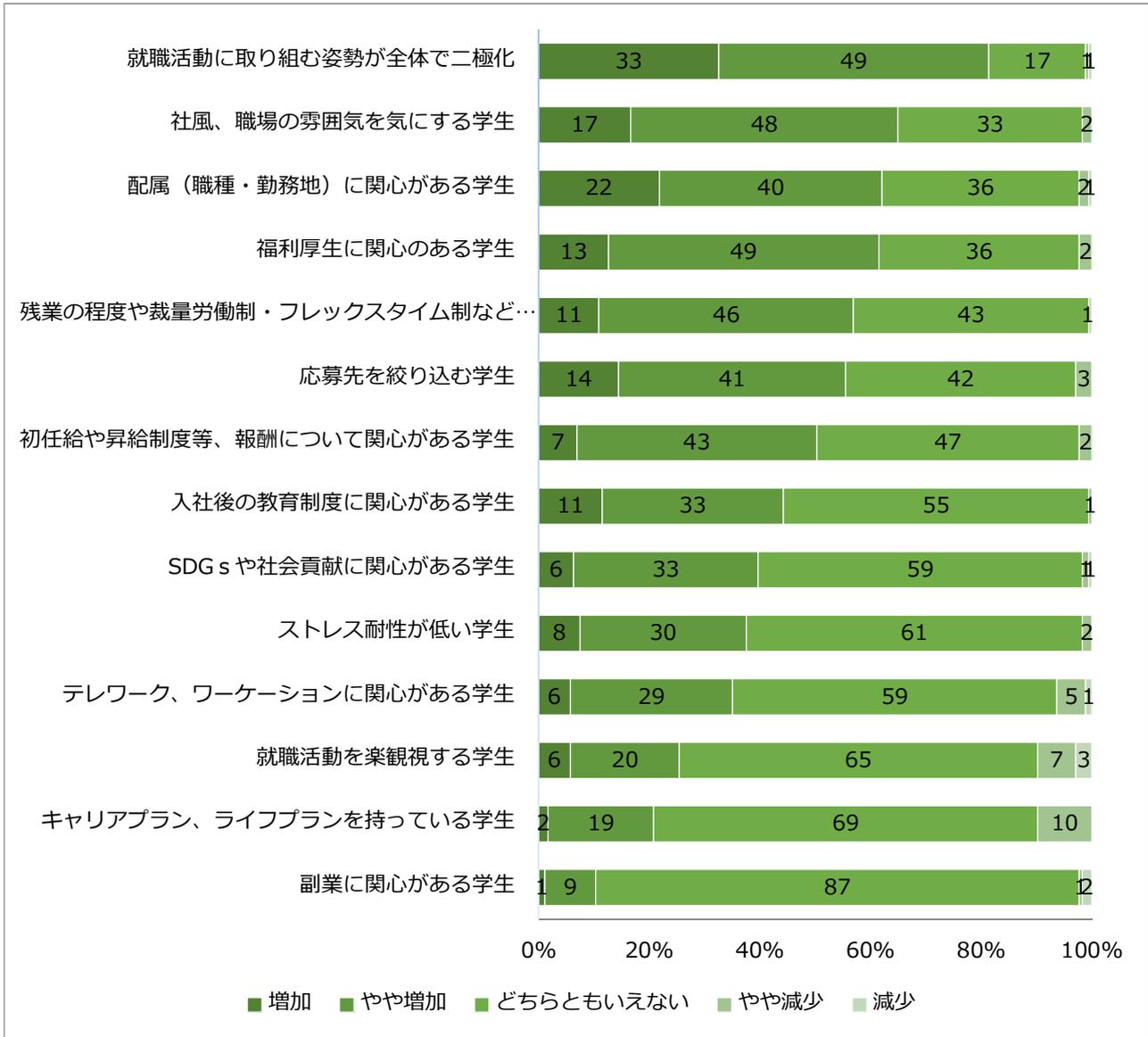
図表6 最終的な就職先の決め手（複数回答）

重視した項目（複数回答）	割合
成長ができそうだから（将来に役立つスキル、技術を覚えられそうだから）	55%
自分の能力、個性が活かせるそうだから	51%
福利厚生（社宅、イベント、社員割引等）が充実しているから	43%
仕事や職場が楽しそう（おもしろそう）だから	34%
希望の職種・部署につけそうだから	30%
希望の勤務地で働けそうだから	30%
給料が高いから（またはこの先上がりそうだから）	28%
企業規模が大きいから	28%
内定をもらったから	28%
経営状態がよいから	25%

2024年3月卒業予定者の採用・就職に関するアンケート

(3) 進路相談や進路選択に関わるなかで感じた学生の特徴（傾向）

図表7 就職活動や進路選択に関わるなかで感じた特徴（傾向）



- (注) 1. 大学キャリアセンター、企業の採用担当者、就職・採用支援者の回答の合計。
 2. 回答0の項目はグラフから省いている。また小数点以下四捨五入のため、合計が100%にならない場合がある。
 3. 「就職活動に取り組む姿勢が全体で二極化」については、左から「顕著である」「ややみられる」「どちらともいえない」「ほとんどみられない」「みられない」の形で尋ねている。

調査名	2024年3月卒業予定者の採用・就職に関するアンケート		
調査機関	産労総合研究所	調査時期	2023年12月1日～2024年3月15日
調査対象	「ブンナビ×読売新聞2024」対象会員約100,000人、大学キャリアセンター約160校、就職・採用支援者約15人、企業担当者約200人。		
調査方法	郵送及びWEBによるアンケート調査方式（WEBによる回答についてはREASを使用）		
回答状況	締切日までに回答のあった新卒予定者 180人、大学キャリアセンター97校、就職・採用支援者 12人、企業 71社について集計。		